

# 日本医療マネジメント学会

## 第22回岡山県支部学術集会 会長挨拶



岡山済生会総合病院 院長

山本 和秀

この度、日本医療マネジメント学会第22回岡山県支部学術集会を開催させていただくことになりました。当院にとりましては3回目の担当になります。多くの医療関係者、行政機関、医療・介護関連企業の皆様のご協力をいただきながら本会が開催できますことに心より感謝申し上げます。

さて、今回の学術集会では、メインテーマを「人生の最終段階における医療と介護について考える」とさせていただきました。人生100年時代と言われる超高齢社会を迎え、医療現場のみならず介護や社会生活の中でも、人生や医療に対する本人の意志の確認が大切になってきています。この問題に関する重要性は認識されているものの、現場における浸透は十分でなく、医療や介護の個々の現場では困惑する場面がしばしば経験されます。この問題の解決には時間をかけて繰り返し議論を行うことが大切であると考えます。特別講演として国立長寿医療研究センター千田 一嘉先生に「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の意義と実践」というタイトルでご講演をお願いしております。また、シンポジウムとして「岡山におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）」を企画し、現場の様々な立場からの活発な議論を期待しております。またテーマに沿った要望演題・一般演題を募集しておりますので、多くの皆様からの演題応募を期待しております。

昨年7月に岡山では予測不能な集中豪雨と大きな災害を経験しました。医療機関は、このような予測不能な事態においても診療業務をいかに継続するかを想定し、その準備をしておくことを求められています。このような観点から、特別企画教育講演として「災害時における診療業務の継続について」（SOMPOリスクマネジメント・北本渉氏）を予定しています。自院の事業継続計画（BCP）の策定に役立てていただければ幸いです。

この学術集会では、医師や看護師のみならず、病院運営に関わっておられる多くの職種の方々に参加していただき、活発な議論を通じて問題点を明らかにし、自院のマネジメント向上に役立つことを期待しています。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。